

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	村民の生活を支援する配食&買い物支援事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 安心生活支援ごごみ 0261 - 82 - 2853
事業区分	②保健・医療・福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	444,369円 (うち支援金: 355,000円)



**事業内容**

- 1. 昨年同様、村の配食サービスの無い平日週3回の昼・夜に配食サービスを提供し、食事面での健康管理を行いました。認知症になっても自宅で暮らせるよう、包括支援センターと連携をとり、安否確認時に変化のある利用者は随時報告を行いました。
- 2. 買い物が困難な高齢者世帯等に対し、注文受付・買い出し・配達サービスを行いました。配達時には安否確認も行い、消費者被害にあっていないか等の声掛けも併せて行いました。



【 A 】

**事業効果**

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・平日毎日昼・夜暖かい配食を提供することにより、高齢者が食に対する意識を高め、健康維持に繋げる事ができた。また、安否確認時に利用者の状況を包括支援センターに報告できた。
- ・買い物が困難な高齢者等の買い物を代行したことにより、買い物できないという不安を解消し、生活の安定につながった。配達により安否確認が確実に行え、声掛けを行うことで会話の機会が増え孤立防止に役立ったと考えられる。
- ・この事業により新卒者の雇用を生み出した。

**今後の取り組み**

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この事業で得られた、高齢者等の生活の向上、孤立防止等を継続して行う事により村内高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごせるように支援していきます。

**【目標・ねらい】**

- ① 拡充した配食サービスの継続
- ② 高齢者等の生活状況の共有
- ③ 買い物弱者の支援
- ④ 生活の質の向上 (QOL)

**※自己評価 【 B 】**

**【理由】**

買い物支援の利用の伸び率が低かった。その原因として、「自分で見て買いたい」という利用者が多くみられた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある